

西丹沢マスキ嵐沢

期 日 2010年8月28日～29日

参 加 L山口修 柴崎研一 杉本伸一 横山高明 石川誠 以上5名

8/28日 横須賀18:40ー登山口到着20:40

夏の暑い一日暑気払いに水遊びでもと西丹沢の沢登りを計画する。

横須賀を午後6時40分発、山口車に柴崎、杉本、石川が便乗し、横横、東名高速経由、山北・松田インターで降り、谷峨の先から一路丹沢湖への道に入る。今夜の宿泊場所大滝橋を左折、渋沢の横山さんとは大滝橋で合流し、畦ヶ丸登山口に到着幕営する。途中松田インターでは地元開成町の花火大会が開かれ今年夏、最後の花火を車中から見学する。

8/29日 出発7:10ー7:40 入渓点7:50 途中休憩し、F8 10:20 通過ー10:40 稜線コル 11:00ー11:20 権現山（西沢乗越）11:40ー支尾根下降しー林道 12:40ー駐車場 13:00 着、ぶなの湯に入り帰宅、横須賀16:00 着

起床5時、柴崎が作るうどんを食べ、昨夜炊いたご飯にフリカケを掛けた柴崎弁当を持って出発する。

天気は晴れて遡行日和。大滝沢は連日の猛暑で降雨なく、沢の水も少ないようだ。

沢のほとりを林道に導かれ辿ると、やがてマスキ嵐沢の標識が現れる。

ここで沢靴に履き替え、ハーネス、ヘルを装着、入渓する。

この沢は、初級として明るく登りやすい沢として紹介されており、2年前には協会行事として入渓している。前回参加した柴崎が案内役である。



畦ヶ丸登山道入口（駐車場・幕営）



トイ状の美しい滝が続く

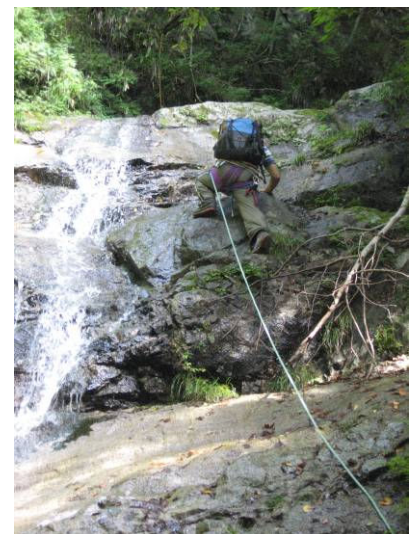
途中2m～4m位の滝を各自、自分の技術を思い返しながらい思い思いに遡る、

小さな二股を左にとり、8m～10m位の滝が続き安全を期してロープを出す。

山口の柴崎や、杉本をリードする声が大きく谷間に響き、新人の杉本君もロープ操作に手馴れてきて、これからも多くの機会を得て本チャンに挑んで貰いたいものだ。

谷は他のパーティーの入渓もなく、天気も良好で独占状態である。

滝は、トイ状、スラブ状と濡れているところは苔で滑りやすく気をつけて登る、



F1・2段8m

古希を過ぎた横山さんも沢靴の相性が悪いのか細かいスタンスに苦労し、一、二度滑るが頑

張って楽しんでいる。

一度休憩した後、上部の滝を目指す。滝も所々2段8mとか10mとか出てくるが、中間にはハーケンやボルトが残置され、ロープを使いながら通過する。奥の顕著な二股には、赤い標識とケルンが積まれ、ゴーロ帯から白ザレを登りコルへ飛び出す。上部は水も枯れてとにかく暑かったが、コルは、

風が吹き抜け心地よい。

下山路は、登ってきた沢を降るか、一般道の西沢へ下るか協議した結果、車が置いてある幕営地点に近いルートとして権現山の支尾根を目指す。権現山・西沢乗越からの丹沢湖が夏の暑さに霞んで見える。

沢を登っていて感じたことは、丹沢で悪名高いヒルや鹿が居なかったことで、本来の遡行気分を充分堪能することが出来た。権現山の頂上はブナや檜が育って下草も整理され、陽光が根本まで届いて健康な植生帯ではと素人ながら感じる。



8m滝



2段10mの滝

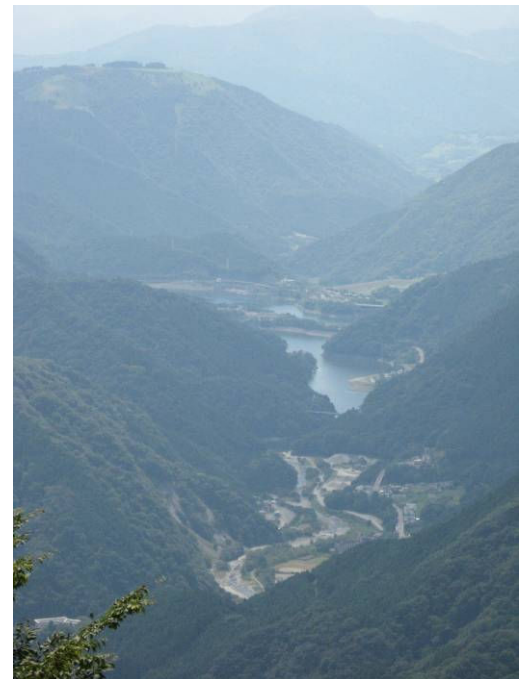
下山は頂上から鹿柵の脇をかすかな踏み後を辿って、油断すると転げ落ちそうな急な支尾根を降り、今朝登って来た下の林道に降り立つ。

帰りに中川温泉の一角にある町営の「ぶなの湯」で汗を流し、横山さんとはここで別れ一路昨日来た道を横須賀へ帰る。

ちなみに「ぶなの湯」の入湯料金は2時間700円であり、浴槽も広く、露天もあり、日帰り風呂としては良かった。西丹沢に入った帰りには利用すると良いだろう。



権現山頂上にて 前柴崎 後ろ左から 杉本 横山 山口



霞む 西沢乗越からの丹沢湖